

Guigla Katsarava

ギグラ・カツアラヴァ 先生
公開講座

2019年

11月14日(木)

14:20~15:50

川越キャンパス

グランツァール

「スクリャービン—20世紀芸術 プロメテウス
(芸術のいくつかの側面とスクリャービンのピアノニズムについて)」

ギグラ・カツアラヴァ先生 略歴

チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院でゲンリッヒ・ネイガウスの弟子レフ・ナウモフに師事、卒業時に最高位勲章である KRASNII diplom (クラスヌイ・ディプロム) を受賞。その後、ドイツにてワイマール・フランツ・リスト音楽大学でラザール・ベルマンに師事し、最高位資格 コンサート・ディプロムを取得して卒業、パリ国立高等音楽院、第3課程を修了。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院ソロピアノ科教授。

旧ソビエト社会主義共和国連邦領時代であった在学中から、チャイコフスキーコンサートホール、ボリショイコンサートホール、ラフマニノフコンサートホールなどで演奏活動を行う。その後、東西ヨーロッパを中心に、中東、アメリカなどで数多くのリサイタル、室内楽、オーケストラとの共演などの演奏活動を行っている。そのレパートリーは、ロシア音楽はもちろんのこと、古典期から現代音楽までと幅広く、その綿密な研究は演奏と共に注目されている。

またヴァルディゼール国際コンクール、フランス・プーランク国際ピアノコンクール、聖チェチリア国際コンクールなど、多くの国際コンクールで審査員を務めた。現在は、パリ・エコール・ノルマル音楽院ピアノ科教授として多くの優秀なピアニストを育てている。

師のL.ベルマンは、「彼には独自の芸術的個性がある。輝かしいヴィルトゥオーゾであると同時に思索的な音楽家でもある」と高く評価している。

《備考》○ この公開講座は、ヒューマンコミュニケーションの1ポイントになります。

○ 公開講座を聴講するため、重複するレッスン及び授業については公欠扱いとなります。

※公欠対象：大学生→4時限目 短大生→3時限目以降

○ 公開講座中の入退場は、原則としてできません。(遅刻厳禁)